

平成 21 年 1 月 26 日
郵便局株式会社東海支社

オリジナルフレーム切手『国府宮はだか祭』の販売開始

郵便局株式会社東海支社（名古屋市中区丸の内 3 - 2 - 5 支社長：斉藤 郁哉）は、次のとおりオリジナルフレーム切手を販売します。

このオリジナルフレーム切手は、平成 21 年 2 月 7 日（土）に行われる愛知県稲沢市の国府宮はだか祭を題材としたもので、稲沢市他 19 市町村の郵便局（簡易郵便局を除きます）で限定販売するものです。

1 切手の概要

名 称	国府宮はだか祭
販売開始日	平成 21 年 1 月 30 日（金）
販売期間	平成 21 年 1 月 30 日（金）～平成 21 年 4 月 30 日（木）
販売部数	3,000 部（予定）
販売郵便局	別紙 1 のとおり（127 局） （簡易郵便局及び郵便切手類販売所では販売しません）
シート構成	1 シート 80 円切手 × 10 枚（縦 2 枚、横 5 枚）
販売方法	シート単位で販売します。
販売価格	1 シート 1,200 円

2 切手デザイン

「別紙 2」のとおり。

3 贈呈式

開催日時	平成 21 年 1 月 28 日（水） 15:00～
開催場所	尾張大國霊神社（国府宮）
受贈者等	受贈者：尾張大國霊神社（国府宮）宮司 竹内 正憲 様 贈呈者：郵便局株式会社東海支社営業本部長 添 和文

4 その他

- （1）オリジナルフレーム切手は、通信販売を行っていませんので、販売地域の郵便局で買い求めください。
- （2）詳細については、下記の連絡先へお問い合わせください。

【報道関係の方のお問い合わせ先】

郵便局株式会社東海支社企画部（広報担当）
電話：052-963-6202

【お客さまのお問い合わせ先】

郵便局株式会社東海支社営業本部（郵便担当）
電話：052-963-6219

【販売郵便局一覧】(1 2 7 局)

市町村名	郵便局名
稲沢市	稲沢郵便局、祖父江郵便局、平和郵便局、稲沢下津郵便局、森上郵便局、矢合郵便局、西光坊郵便局、稲沢駅前郵便局、大里郵便局、千代田郵便局、稲沢国府宮郵便局、稲沢奥田郵便局、稲沢稲葉郵便局、稲沢日下部郵便局
一宮市	尾西明地郵便局、一宮七夕郵便局、尾西郵便局、一宮苅安賀郵便局、萩原郵便局、尾西三条郵便局、一宮久古見郵便局、一宮馬引郵便局、尾西起郵便局、一宮野口郵便局、尾西小信郵便局、尾西富田郵便局、一宮八幡郵便局、一宮西御堂郵便局、一宮戸塚郵便局、一宮郵便局、奥町郵便局、一宮泉郵便局、今伊勢郵便局、一宮文京郵便局、一宮公園通郵便局、一宮松降郵便局、一宮牛野郵便局、一宮別明郵便局、一宮大志郵便局、木曽川郵便局、葉栗郵便局、浅井郵便局、一宮千秋郵便局、一宮西成郵便局、一宮丹陽郵便局、木曽川玉井郵便局、一宮北方郵便局、木曽川黒田郵便局、一宮浅野郵便局、一宮中島郵便局、一宮前野郵便局
津島市	津島郵便局、神守郵便局、津島門前郵便局、津島南本町郵便局、津島古川郵便局、津島青塚郵便局、津島駅前郵便局
犬山市	犬山郵便局、楽田郵便局、犬山羽黒郵便局、城東郵便局、犬山薬師郵便局、犬山新坂郵便局、犬山五郎丸郵便局
江南市	江南布袋郵便局、宮田郵便局、江南郵便局、草井郵便局、江南東野郵便局、江南高屋郵便局、江南藤丘郵便局、江南宮後郵便局、江南古知野郵便局、江南五明郵便局
岩倉市	岩倉郵便局、岩倉東郵便局、岩倉稻荷町郵便局、岩倉神野郵便局
愛西市	海部立田郵便局、佐屋郵便局、佐織勝幡郵便局、八開郵便局、永和郵便局、西川端郵便局、藤浪駅前郵便局
清須市	枇杷島郵便局、清洲郵便局、尾張新川郵便局、須ヶ口郵便局、枇杷島大和郵便局、清洲丸之内郵便局、二ツ杵駅前郵便局、師勝高田寺郵便局
北名古屋市	西春西之保郵便局、西春郵便局、師勝郵便局、西春九之坪郵便局、師勝坂巻郵便局
弥富市	弥富郵便局、鍋田郵便局、十四山郵便局、弥富佐古木郵便局、弥富海老江郵便局、弥富中地郵便局、
西春日井郡豊山町	豊山郵便局
西春日井郡春日町	春日郵便局
丹羽郡大口町	大口南郵便局、大口郵便局
丹羽郡扶桑町	扶桑郵便局、扶桑駅前郵便局、柏森駅前郵便局、扶桑高雄郵便局
海部郡七宝町	七宝郵便局
海部郡美和町	美和郵便局、富塚郵便局、美和篠田郵便局
海部郡甚目寺町	甚目寺本郷郵便局、甚目寺郵便局、甚目寺西今宿郵便局
海部郡大治町	大治郵便局、大治西条郵便局
海部郡蟹江町	蟹江郵便局、蟹江舟入郵便局、蟹江須成郵便局、蟹江富吉郵便局
海部郡飛島村	飛島郵便局、



「国府宮のはだか祭」として知られるこの祭は、毎年旧暦正月13日に行われております。
基間のはだか男達が神男(しんおこ)に触れようと揉み合う男達のお祭(難造神事)が
良く知られてはおりますが、これは江戸時代の末頃から始まったものです。
本来は、翌日午前3時に行われております。「夜難造神事」が本義であります。
その起源は古く、称徳天皇の御命により悪疫退散の祈禱が全国各地の国分寺で行われた際、
尾張国司が総社である尾張大御堂神社(国府宮)において祈願したのに始まると
伝えられています。



平成二十一年二月七日

国府宮はだか祭

難造神事

厄年の男を中心に、尾張一門から、ササシのふんどし、白足袋をついた数千のはだか男が集まります。
はだか男たちは、群をなし威勢良く「難造世」を神けて、拝殿へ駆け込みます。
これは、裸になれない老若男女が氏名、年齢等を書いて祈念を込めた布(なかいざれ)を結びつけた香竹を、はだか男が身代わりとしてかつぎ込み厄除けを祈願するのです。
午後4時頃、参道の一角に神男が登場します。
それを見つけたはだか男たちが、神男に触れて厄を落とそうとすさばいもみ合いになります。

大鏡餅

はだか祭には毎年尾張近郊の地区から「大鏡餅」が奉納されます。
その大きさは50俵取り(約4トン)という巨大さで、祭り本奉前日に神社に奉納されます。
(平成21年は、2月6日に清原奉賛会から奉納されます。)
この餅は祭り本奉を明けた旧暦正月14日、切り分けられ、難造殿において、授けられます。

郵便局

売価:1,200円

拝殿(堂文) NIPPON 80	楼門(堂文) NIPPON 80	難造神事標柱建式 NIPPON 80	大鏡餅奉納 NIPPON 80	難造世奉納 NIPPON 80
難造神事 NIPPON 80	難造神事 NIPPON 80	難造神事 NIPPON 80	夜難造神事 NIPPON 80	大鏡餅餅切 NIPPON 80

- 切手と写真部分を郵便物に貼って、ご利用いただけます。
写真部分だけでは、切手としてご利用いただけません。
- 郵便料金納付のためにこの切手をご利用の場合、写真部分に消印がかかることがあります。

© 国府宮神社 企画・制作

